



玉串舞奉奏

九月五日(木)、全国神道青年協議会(会長 大島居良人)の創立七十五周年記念事業として、「竹島領土平安祈願祭」が隠岐の島町久美の地で斎行された。祭典には全国から参加した青年神職の同志はもとより、隠岐の島町長(大庭孝久副町長)を始め、島根県神社庁(忌部正孝副庁長)、日本会議島根(倉井毅会長)、地元選出国會議員、全国氏子青年協議会(高井勇次会長)、神社巡拝家の佐々木優太氏、地元の竹島問題に従事される関係者などを来賓として招き、総勢約百名の祭典となった。

島根県神道青年協議会 監事 石崎彰矩

「竹島領土平安祈願祭」

神道青年全国協議会創立七十五周年記念事業

島根県神社庁報

第363号

島根県神社庁
〒699-0701
出雲市大社町杵築東286
TEL 0853-53-2149
FAX 0853-53-2582



目次

竹島領土平安祈願祭報告	1
教化委員総集会報告	3
神宮大麻暦頒布始奉告祭	4
階位検定講習会報告	5
大社國學館入学案内	7
氏青定期大会報告	7
神職身分昇級	8
神職任免	8
庁務日誌	8
神職帰幽	9
社ガール通信	10
支部だより	12



(祭典の次第は次の通り)

一、開式

一、国歌斉唱

一、神事

修祓

降神の儀

献饌

祝詞奏上

玉串舞奉奏

斎主玉串拝礼

神青協会長玉串拝礼

来賓代表玉串拝礼

撤饌

昇神の儀

一、聖寿万歳

一、会長挨拶

一、来賓代表挨拶

以上

我が国には北方領土、竹島の二つの領土問題が実在するにも関わらず、竹島について国は積極的に領土問題として捉えてこず、昭和二十九年に韓国が不法占拠して以来、およそ七十年が経過している。日韓の友好関係を強くすることは必要な



島後久見神楽保持者会

ことであるが、領土問題を置き去りにして進める国の姿勢はいかなるものかと憂慮している。

祭典終了後の大鳥居会長の挨拶で「神青協は昭和二十四年の創立以来様々な活動を行ってきたが、時局に関わる事業はその中でも重要なものである。未だ竹島問題解決の糸口は見えないが、当会では問題の早期解決と日本海の平穏を祈り、平成二十六年にこの竹島の碑を建立

した。この問題が長期化する中で最も懸念されるのは、自国内での関心が薄れることである。我々青年神職の役割は神明奉仕であるが、国を守ることも大きな役割の一つである。この活動を継続することが目的ではなく、解決することを見失わず、問題に対する理解も深めていきたい。国を守るという覚悟をもって、活動を継続していくことを誓い挨拶とする。」と述べた。

続く来賓挨拶でもこの領土問題に対する思いや、これまでの神青協の活動に対する強い思いが語られ、参加者一同は改めてこの問題解決に向けて思いを一つにした。祭典終了後には盛大に直会を行い、参加者はそれぞれに熱い思いを語り合い、お開きとなった。





賀茂那備神社宮司野津研吾氏による発表

本年九月六日国民精神昂揚研修会が島根県神社庁にて約七十名の参加を以て開催された。
県内人口が六十五万人を割り、全市町村が過疎地域に指定されている当県において、神社を護持するうえで多くの課題に直面している。

島根県神社庁教化委員会では、この課

教化委員 総集会

国民精神昂揚研修会 併三部合同教化会議報告

教化委員 中田 宏記

題への効果的な対策に資するべく、県内神社の実態調査を十年ぶりに実施し、前回調査との比較及び分析を行った。この研修会では、その調査結果をもとに、県内神社の実情を把握するとともに、神社本庁より講師を招聘し、全国的に見られる過疎地域における神社運営の問題点や、有効的な施策の実例などをご教授いただき、今後に活用していきたいと考える。

第一講は過疎地域神社活性化に向けての実例報告として、第二期過疎地域神社活性化推進施策指定神社の島後支部・賀茂那備神社、野津研吾宮司より報告があった。隠岐造として隠岐では三番目に古い本殿について、また役主と呼ばれる子供達が弓を引き厄祓いを行う特殊神事である「百手祭」についての説明があった。施策対象期間だけの一過性のものにならぬよう、役員総代と共に協議した。



中国地区教化講師錦田剛志氏と
北島講師によるまとめ並びに質疑応答

主に百手祭の弓の新調、若い世代と共に大注連縄を製作、神職の夫人方と浦安の舞の講習会を実施した。その他、パンフレットの作製やイベント等幅広い事業を展開したとの報告があった。

その後、牛尾教化委員長よりアンケートの現況調査報告があり、氏子世帯数、祭典状況、後継者等、二十四年時の調査との比較についての報告があった。尚、各部会の報告は時間の関係上、書面報告となった。

第二講は神社本庁教化広報部北島一孝



少子・高齢化に関わる神社運営状況アンケート調査(詳細は神社庁ホームページをご参照ください)

今回の研修では、過疎地域に於ける神社の将来を考える上で重要な講演となり、大変充実した研修となった。

終了後北島講師とともに錦田中国地区教化講師がコーディネーターとして、まとめと質疑応答を行った。

教化課長による「過疎地域における神社の振興」と題し講義を受けた。神職数や明治以降の神社の減少、限界集落の神社の割合等の報告がなされ、全国における過疎地域の活動の一部が説明された。一社だけでなく、周りの神社と協力しての御朱印巡りや地域全体の活性化を兼ねての活動や、新しい賑わいの創出が紹介された。しかしながら、各地域の置かれた状況の差があるため、それぞれの神社が工夫をして考えて行かなければならない問題である事と説明された。

神宮大麻暦頒布始奉告祭



九月二十六日(木)神社庁神殿において神宮大麻暦頒布始奉告祭が角河庁長外役員支部長参列のもと肅行された。

祭典奉仕者

斎主 青木英明(益田)

祭員 鳥居正嗣(益田)

奏楽 篠田範雅(益田)

奏楽 篠田雅子(益田)



権正階・直階 階位検定講習会を終えて

去る八月七日(前期甲課程)より約一ヶ月間に及ぶ階位検定講習会が島根県神社庁を会場に開催された。

九月三日に閉講式(後期乙課程)を行い、修了生より次のとおり謝辞が述べられた。

謝辞(前期)

僭越ながら修了生を代表してお礼のご挨拶をさせていただきます。

今回の講習会には、全国から権正階甲



前期 権正階(甲)・直階(甲)

課程講習生十二名、直階甲課程講習生十六名が集まり、この島根の地で学び講習会を修了できたことを光榮に思います。これも偏に大変な猛暑の中、温かいお心遣いをいただいた角河庁長様をはじめとする島根県神社庁の皆様と、様々な知識や考え方を創意工夫された講義で惜しみなく私達に授けていただいた主任講師の石原先生をはじめ講師の先生方のお陰と心より感謝いたします。

私は神職の資格をいただいてから自己なりに学んできたつもりでした。しかし、講習会が始まるとすぐ自分の無知に気づき、自分の情けなさにこのままやっていけるだろうかと不安に駆られました。その時周りをみると志を高く持った仲間がいて、このままではいけない。改めて真剣に学ばなければと気を引き締めることができました。一緒に学べた仲間に感謝します。

また講師の先生から教えていただいた心。神職は心、気持ちが大変なんだとあらためて気づかせていただき、目先しか見えていなかった自分を反省し初心を思い出すことができました。

まだまだ神と人をつなぐ仲執り持ちとして一歩どころか半歩もすすんでない私ですが、今後さすが島根県神社庁で

学んだ神職だと言っていただけのように精進してまいります。また皆様にはご指導、ご鞭撻をよろしく願います。

三日後には後期の講習会も始まります。この素晴らしい仲間たちをまた導いてくださるようお願いいたします。

結びに、講師の先生方、また島根県神社庁の皆様におかれましては、くれぐれもお身体をお勞りいただき、ますますのご活躍ご発展をお祈りいたします。ありがとうございます。

令和六年八月十九日

修了生代表 中林 司

修了生名簿

権正階(甲)

坂朝中 松進 樋内 花
田倉白 岡林白 本藤白 間部伯
久秀智 亮悠清 晶由 剛哲英
好樹久 祐作 輝子 志緒久

直階(甲)

福志村 西北 春吉 桂尾 綾岡 門原 藤山
林水田 島村 岡川 崎井 脇田 原本
正崇裕 昭香 穂公 友千 岳啓 慶武
行沙 孝子 凜徳 高仁 華志 悟子 輔葵琉

謝辞(後期)

この島根県神社庁へ通う道沿いの水田の稲穂も頭を垂れ、収穫の季節を迎えようとしている今日のよき日に、令和六年階位検定講習会、権正階乙課程十名、直階乙課程十八名、計二十八名は、修了の日を無事むかえる事が出来ました。出雲大社の御神徳と島根県神社庁角河庁長様篠田副庁長様、主任講師の石原先生をはじめとする講師の先生方、職員の皆様のお陰です。ありがとうございます。

講習会生活は慣れないことが多く、足の痛みに耐え、冷汗を流しながらの神社祭式同行事作法、最初は読めない、意味も分からなかった祝詞、その他の神職として必要な知識を身につけるための多彩な講義では、内容を理解するのに苦労を重ねてきました。そのような中で、年齢もこれまでの社会経験も違う、各地から集まってきた仲間の存在が大きなものとなりました。時には教え合い、時には励まし合うことで、のり越えてくることができました。また、休憩時間での何気ない会話や聞こえてくる笑いを伴う賑やかな声も心を和ませてくれるものでした。そして忘れてはいけけないのは、講師の先



後期 権正階(乙)・直階(乙)

生方や我々受講生の先輩方からの差し入れと励ましの言葉でした。

講師の先生方、職員の皆様、神社へのご奉務や日常業務の合間を縫って、私たち受講生のために神職として必要な知識や作法、心のあり様などを、独自のプリントやプレゼン資料、映像などを準備され、分かりやすく愛情をもって、教え導いてくださったことに心より感謝いたします。私たち修了生は、ご教示いた

たことを、それぞれの神社や地域で工夫、実践し、ご奉仕していくつもりです。

私としては、少し残念であったのは、「禊実習」が「鎮魂行事」になったことです。鎮魂行事も初めての体験で良かったのですが、稲佐の浜での禊を私としては体験しなかったです。それからもう一つ出雲で「直会」を体験したいものです。

本日、私たちは講習会を終えることになりましたが、私たち修了生はスタートラインに立っただけのことです。講師の先生方をはじめとする諸先輩方には、遠く及ぶべくもありません。「神と人との仲執り持ち」として、一步一步と進んでいきたいと思っています。

まだまだ神職として未熟な私たちです。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしく願います。

最後になりましたが、講師の先生方と島根県神社庁の庁長様をはじめとする職員の皆様のますますのご健勝と島根県神社庁のますますの栄栄を願って、お礼の言葉にかえたいと思います。

ありがとうございます。

令和六年九月三日

修了生代表 樋本 清輝



奉納品

階位検定講習会講習生一同様から
姿見一面・時計二個をご奉納いた
だきました。厚く御礼申し上げます。

古桂福	大花佐神樋春進神福坂	修正階(乙)
木川林	澤田伯白本日藤白間田	
秀公正	悠英哲由清隆悠智晶久	
典仁行	翔久緒子輝伸作久子好	

金松尾村児門勝綾藤吉中春山西金
築尾崎田玉脇部井原岡島日本村築
武和友裕晋 弥千慶穂文昭 香
生
琉史香子也悟美華輔高江徳葵凜直

修了生名簿

大社國學館入学案内

詳細は直接大社國學館までお問い合わせ下さい。

《所在地・照会先電話番号》

大社國學館

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東283
電話 0853-53-2020

《募集人員》

普通課程Ⅱ類(本科生) 15名
同 (選科生) 若干名
予 科(別科生) 若干名

《入学試験日・内容》

- 第1次 令和7年2月20日(木)
 - 第2次 令和7年3月21日(金)
 - 第3次 令和7年4月10日(木)
- 筆記試験(国語・国史・作文)及び面接

《出願手続締切》

- 第1次 令和7年2月15日(土)
- 第2次 令和7年3月16日(日)
- 第3次 令和7年4月5日(土)

島根県氏子青年協議会定期大会



髭ヶ瀧での禊研修



熊野大社での集合写真

去る九月七日、第五十八回島根県氏子青年協議会定期大会が熊野大社氏子青年会主管により開催された。

神職身分昇級

二級上 令和六年九月十日付

太鼓谷稻成神社 祢 宜 佐 伯 正 克 (鹿足)

八 幡 宮 宮 司 宅 野 裕 司 (鹿足)

二級 令和六年九月十日付

八 幡 宮 宮 司 野 上 郁 子 (那賀)

太鼓谷稻成神社 権 宮 司 角 河 平 彬 (鹿足)

太鼓谷稻成神社 権 祢 宜 長 谷 部 有 哉 (鹿足)

神職任免

(令和6年9月30日～10月15日)

任 免	免	任	任	任	任
発令月日	奉職神社名	鎮 座 地	兼本務	職 名	氏 名
6・9・30	横田神社	松江市美保関町	兼 宮 司	中 村 明	
6・10・1	〃	〃	兼 宮 司	宮 本 恵	
6・10・15	大日靈神社	益田市木部町	本 宮 司	田 中 慎 一 郎	
6・10・15	八 幡 宮	益田市金山町	兼 宮 司	〃	
6・10・15	三劔神社	〃	兼 宮 司	〃	

庁 務 日 誌

(令和6年7月～9月)

- 7月5日 令和6年度飯石支部神社関係者大会 於 掛合交流セン
ター(篠田副庁長出席)
- 7月18日 広報委員会
- 7月23日 教化委員会石見部会総代会敬神婦人会合同役員会 於
濱田護國神社(角河庁長参列)
- 7月24日 明治神宮名譽宮司故外山勝志儀明治神宮葬 於 護国寺
桂昌殿(角河庁長参列)
- 8月7日 階位検定講習会権正階・直階甲課程開講式(篠田副庁長
出席)
- 〃 宮司辞令交付式
- 8月8日 臨時教化委員会
- 8月13日 献灯祭 於 濱田護國神社
- 8月15日 追悼慰靈祭並平和祈願祭 於 濱田護國神社(篠田副庁
長参列)
- 〃 松江護國神社終戦記念祭 於 松江護國神社
- 8月18日 石見部神職研修会 於 濱田護國神社(篠田副庁長出席)
- 8月19日 階位検定講習会権正階・直階甲課程開講式(篠田副庁長
出席)
- 8月21日 監査会・役員会
- 8月22日 階位検定講習会権正階・直階乙課程開講式(篠田副庁長
出席)
- 8月25日 教化委員会出雲部会国民精神昂揚研修会「夏季鍊成
会」於 神社庁
- 〃 益田支部神社関係者大会 於 サンパレス益田(角河庁
長出席)
- 8月27日～28日 第68回広島県神社関係者大会 於 広島県立文化
芸術ホール(角河庁長出席)
- 9月3日 階位検定講習会権正階・直階乙課程閉講式(篠田副庁長
出席)

- 9月4日 教化委員会出雲部会前期総集会 於 神社庁(篠田副庁長出席)
 “ 第50回鹿足郡敬神婦人会総会 於 太鼓谷稲成神社(角河庁長出席)
 9月5日(6日) 神道青年全国協議会創立75周年記念事業竹島領土平安祈願祭 於 隠岐の島町竹島之碑(忌部副庁長参列)
 9月6日 教化委員総集会国民精神昂扬研修会 於 神社庁
 9月7日 島根県氏子青年協議会第58回定期大会 於 ゆうあい熊野館(齋木理事出席)
 9月13日 総代会出雲部会評議員会
 9月16日 神宮大宮司御招宴 於 神宮会館(角河庁長、和田主事出席)
 9月17日 神宮大麻暦頒布始祭 於 内宮神楽殿(角河庁長、和田主事参列)
 “ 神宮大麻暦頒布表彰式 於 神宮会館(角河庁長、和田主事参列)
 “ 神宮大麻暦頒布秋季推進会議 於 神宮会館(角河庁長、和田主事出席)
 “ 神社庁長懇話会 於 神宮会館(角河庁長出席)
 “ 皇學館大學御招宴 於 鳥羽国際ホテル(角河庁長、和田主事出席)
 “ 皇學館神社関係者懇談会 於 鳥羽国際ホテル(角河庁長、和田主事出席)
 “ 伊勢神宮崇敬会地方本部事務局長会 於 神宮会館(和田主事出席)
 9月18日 神社庁長会 於 神宮会館講堂會議室(角河庁長出席)
 “ 皇室普及委員会 於 神宮会館講堂棟(角河庁長、和田主事出席)
 9月20日 身分伝達式(二級上・二級) 於 太鼓谷稲成神社(角河庁長出席)
 “ 正・副庁長会
 “ 奨学生審査委員会

9月25日 階位検定講習会検定審査委員会
 9月26日 神宮大麻暦頒布始奉告祭 斎主 八幡宮 宮司 青木英明(益田支部)
 “ 支部長会
 “ 総務委員会(表彰審査会)

神 職 帰 幽

仁多郡奥出雲町 三澤神社 名誉宮司 陶山親敏
 令和六年九月二十二日 享年九十五
 浜田市熱田町 熱田神社 祢宜 牛尾友昭
 令和六年九月二十四日 享年九十二
 大田市川合町 物部神社 祢宜 村田有郷
 令和六年十月十八日 享年七十六
 謹んで哀悼の意を表します。
 島根県神社庁長 角河和幸

神社フォト ギャラリー

神社の社殿、神事・神賑行事、神社を含む四季折々の風景など、様々なお写真を募集します。

真先 千六九九・〇七〇一 出雲市大社町杵築東二八六
 写真 島根県神社庁 録事 高見幸子 あて
 Eメール takami@shimane-jinchao.or.jp

※ 神社名、神事・行事名や所在地、提供者のお名前を記載の上、お送り下さい。

次号までの締め切り
 11月末日

开社☆ガール通信

ジオの魅力を発信

～迫力のあるジオサイトの
撮り方を学ぶ～

― 八重垣神社編 ―

島根半島・宍道湖中海ジオパーク普及啓発補助事業として、『迫力のある写真をスマートフォンで撮る』方法を学びました。

フォトスタジオフレームの鈴木健之氏から写真指導講座を受けた後、八重垣神社で参拝と撮影をさせていただきました。

フォトスタジオフレーム

所在地：松江市上乃木八丁目六―三

まずは座学。スマートフォンのアプリ(アプリはスマートフォンに特定の機能を追加するものです。今回は写真加工アプリを使います。)で撮影した

写真を手軽に『SNS映える写真に変化させる』技などを教えていただきます。「SNS(エスエヌエス)」とは投稿する人と閲覧する人が互いに交流できるインターネットサービスのことで、投稿を見て良いと思った時に反応を示すボタンを押すことや、所感を伝え合うことで意思疎通を図ります。「映(ば)える」とは写真映えるという意味です。より興味関心を持たれやすい写真を投稿することにより、閲覧数を増やし交流を促進します。

講座は、フォトスタジオフレームの自社スタジオをお借りして実施しました。山陰最大級のスタジオを有する社内ロビーは、モダンとアンティークが融合し、とってもおしゃれ。やる気も高まります。

講座は「カメラにグリッド線を表示」することが、建造物では特に大事であることがよくわかる内容でした。「グリッド線」とは、撮影画面に表示され



八重垣神社 所在地：松江市佐草町227

る補助線のこと、被写体の水平・垂直を合わせて撮影することができます。「建物の柱・屋根などの直線が傾斜していると、正しく伝えることができないため、細部にも注意を払うことが肝

講評前



心なのです。」と鈴木さんはおっしゃいます。

座学が終了し、スマートフォンアプリとカメラの設定も確認した後、八重垣神社へ。

参拜で見慣れている八重垣神社の鳥居も、いつもと違うアングルで撮り始め、約1時間、境内と鏡の池で思い思いに撮影しました。

スタジオに戻り、鈴木さんの講評となります。今回の講座では、この改善のための時間を大切にしており、撮っ

た写真をスマートフォンの写真加工アプリで加工して、より臨場感を加えて、ドラマティックな作品に仕上げます。

こちらが加工前とアドバイスを受けて加工した後の作品です。両方を見比べていただくと明らかに違いが分かります。

終了後、参加者からは、『神社を巡る際、これまでにたくさんさんの写真を撮影していましたが、記録やレポートのため、拝殿や御本殿を撮影するといつもと同じような写真となってしまう

講評後



ます。一見すると「これはどこの神社だろう?」と分からないこともしばしばでした。今回、構図の引き・寄りで神社や境内をかつこよく撮るテクニクを教えてもらい、自分でも納得がいくような素敵な写真を撮ることができました。今後の神社めぐりレポート作成に活かしたいです!」などの感想が上がりました。

より魅力的な発信をし、若い世代にも神社参拜に興味を持ってもらえるよう、頑張りたいと思います。

支部だより

出雲大社支部

畏くも天皇皇后両陛下におかせられましては、天機愈々麗しく日々公務に精励あそばされておりますこと、誠に喜ばしく慶賀に堪えない次第でございます。

元日に輪島市や珠洲市において甚大な被害をもたらした能登半島地震に続き、九月二十一日奥能登豪雨災害が発生いたしました。被害に遭われた皆様に心より



お見舞いを申し上げますとともに、一日

も早く心穏やかな日常を取り戻されます事を願っております。

さて出雲大社におきまし

ては、ウクライナ国旗を模した幟を掲げて困難の中にある人々に心を寄せるとともに、ご参拝の皆様には平和への祈りを込めた折鶴をつくっていただき、千羽鶴に仕立て境内に掲げること、多くの方々の世界平和への願いが紛争下にある国々へ届くよう発信しております。年月の経過とともに人々の関心が薄まってきておりますが、これからも絆を結び、互いを助け、尊敬し合う社会の実現のために、宗教者として世界平和への祈りを捧げると共に目に見える形での取り組みを続けることが肝要であると考えております。

今後もしも引き続き、皆が心ひとつに争いのない平和な世界を祈り合いましょ。



編集後記

神社のインスタを始め、一年になります。それまでの数年間、境内の掲示板を活用してきましたが、お詣りの方に限られ、もっと幅広い世代にも周知できたらと思い切って始めました。

秋の例大祭からスタートし、日々の祭祀、境内の四季、氏子さんの縄作りや役員会、地元保育園から小学校の参拝や町たんけんの様子等、写真が載ることで活き活きと神社の一年が紹介できました。

「氏神社をもっと身近なパワースポットに!」との思いから始めたインスタ。今年は二年目、どんな投稿がみられ出逢いが広がるか、楽しんで続けたいです。

(江)

島根県神社庁報(第三六三号)

発行日 令和六年十一月十日

発行者 島根県神社庁

編集 広報委員会

委員長 陶山 浩正 委員 鳥屋尾 浩

副委員長 宮能 壮充 委員 江角 恵

委員 石崎 彰矩